

平成28年度地方創生加速化交付金事業の効果検証

施策	事業概要	事業期間	実績額	重要業績評価指標(KPI)	実績値	地方創生に対する事業効果	実績値を踏まえた今後の方向性	外部有識者（創生会議）からの評価
健幸都市 おおがわ ら・「歩き たくなる まち」創 造事業	<p>健康であることが幸せにつながる「健幸」の意識を広げ、生活習慣を健康志向にすることで健康長寿を目指し、高齢者が増え続ける時代を乗り切る。「健幸」の着手として「歩く」ことを中心にした日常的な運動を普及することで、健康寿命の延伸につなげる。</p> <p>①「歩いて健幸システム」(活動量データ管理システム)導入・運営</p> <p>②仙台大学バックアップ「歩いて健幸システム」オープニングイベント</p> <p>③公園内健康遊具設置</p> <p>④健康増進事業(運動機能アップ教室等)委託</p> <p>⑤運動啓発事業(ウォーキング教室等)委託</p> <p>⑥「歩きたくなるまち」創造事業プロジェクトの実施</p> <p>⑦ウォーキングコース設定に係るマップ等運動啓発印刷物制作ほか</p>	平成 28 年 6 月 ～ 平成 29 年 3 月	(円) 交付金 12,500,000 実績額 11,896,499	「歩いて健幸システム」登録者 300 人 運動教室・栄養教室等への参加者 1,800 人	300 人 2,222 人	<p>高齢者が増え続けるが、やがては高齢人口も減る全体人口減少が起こる。元気な高齢者が増えれば、人口減少の緩和になり、地域貢献の担い手ともなり、加え医療費・介護報酬等社会保障費の減により財源の確保につながる。</p> <p>40 歳以上の町民に対し、歩数計を活用するシステムを導入するなど、歩くことを中心にした運動を啓発することで、健康増進の意識が向上した。将来に向け、健康第一、「健幸」を目指し、元気な高齢者づくりにつなげた。</p>	<p>歩数計を活用した「歩いて健幸システム」の第 1 期登録 300 人に加え第 2 期登録 300 人を募集し、歩く健康増進を拡大していく。地域や職場などにシステムへの参加アプローチを企画していく。</p> <p>また、歩くことを中心にした運動の機会と場を多く設け、生活の中で運動を取り入れることを定着させていく。民間事業者や仙台大学と連携した運動機能アップの事業を継続していく。歩きやすい環境整備の手法を検討していく。</p>	